

国民大運動行動報告

第036号
2019年
12月5日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～ 第200臨時国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 12・4緊急国会行動～

怒りを込めて強行採決に抗議！安倍政権に終止符を！



参議院会館前での緊急行動で、悪法を強行した安倍政権に怒りの声を上げる参加者

会期末を控えた12月4日、三者共催による緊急国会行動は、午前中の参院本会議で日米貿易協定承認案、公立学校教員への「1年単位の变形労働時間制」を導入する給特法改定案が、自公与党と維新による賛成多数で可決成立したため、会場となった参議院会館前は抗議と怒りの声で包まれました。

200名を超える参加者は、国公労連の森慧佑中央執行委員の司会の下で、安倍首相主催の「桜を見る会」の疑惑についてはまともな答弁を行わず、野党による予算委員会集中審議の開催要求にも応ぜず、国会を愚弄し悪法を強行する安倍政治を一日も早く終わらせようと決意を固めました。

今ほど「生きづらい社会をいっしょに変えよう」とのよびかけがひびきあうときはない！

主催者を代表して挨拶を行った新婦人の米山淳子会長は、午前中の2法案の強行成立に対して「国民の安定的確保、安全な食べ物、安心な生活との願いを真っ向から踏みにじるもの」「教員の多忙化の解消は子どもたち、親たちの切実な願いでもあり、異常な長時間労働の解消どころか加速化させるものだ」と強く抗議。野党共同の追及による「桜を見る会」疑惑にもまともに答えず国民の

声をきかない安倍政権をつよく批判し「一緒に声を上げる仲間をひろげ、安倍政権も9条改憲にも終止符を打つまでがんばろう」とよびかけた。



民主主義の土台が壊れている安倍内閣に、悪法を推進する権利はない！

国会情勢報告を行った日本共産党の井上哲士参議院議員は、可決された法案と協定について「現場の教員、農業者の皆さんの権利と生活を脅かすと同時に子どもたちの未来をも脅かすものだ」とし「安倍内閣の犯罪性が一層うきぼりになっているのではないか」と指摘。また、「桜を見る会」での行政の私物化、公文書の隠ぺい、悪特商法会長の招待など「民主主義の土台が壊れている」と強く批判し、「これらの問題を曖昧にせず、閉会中も含め徹底追及し、安倍政権を倒すために市民と野党の共闘をいっそうひろめがんばり抜く」と語った。写真手前左より、挨拶する井上哲士、紙智子両参議院議員



もはや亡国の政治！

安倍政権を倒し、新しい政治をきりひらくために頑張ろう！

日本共産党の紙智子参議院議員は、3日に農水委員会の視察で長野県の台風19号の被災地に行き、「まもなく2ヶ月になろうとしているのに、被災された方々はやっと仮設住宅に移り始めた段階。千曲川の決壊で川底の砂利が大量に住宅を襲い、りんごの木の復興もまだ続いている」と報告。その一方で数の力で悪法を数々強行する安倍内閣に対する憤りを訴え、「もはや亡国の政治。皆さんとご一緒に安倍政権を倒し、新しい日本の政治をきりひらくために頑張りましょう」と決意とともによびかけた。

食料は命そのもの！

きょうこの日を忘れない。新たなたたかいをがんばろう！

全国食健連の館野豊事務局長(全農協労連書記長)は、「資料の開示もせず議論もぐらかし、たった22時間で私たちの食料、暮らしにかかわる重要な問題を決めた」と日米貿易協定承認案の本会議での強行成立を強く抗議。「今後はアメリカと財界・大企業の要求に応え日米FTA、労働や医療分野などあらゆる規制緩和を打ち出してくる」と指摘し、「運動の広がりには確信をもって、安倍政権を引きずりおろすまでともにがんばろう」と訴えた。



せんせいふやそうの声ひろげ、現場には導入させない！

たたかいはこれから！

全教の檀原毅也書記長は、日米貿易協定承認案、公立学校教員への「1年単位の変形労働時間制」を導入する給特法改定案が「私たちの暮らしや働き方、この国のあり方を大きく変えるものであるにもかかわらず、きわめて不十分な審議で採決されたことに断固抗議する」と述べ、8時間労働の大原則をなきものにする法案の中身について厳しく批判。「野党共闘で引き出すことができた、条例をつくらせない、現場に導入させないたたかいを展望に、とりくみのつながりで広がった大きな連帯で安倍政権を追い詰めよう」とよびかけた。



消費税率を5%に引き下げ、

複数税率もインボイス制度も廃止する政権をつくろう！



全商連の中山眞常任理事は、「消費税率が10%に引き上げられて2ヶ月、このわずかな間だけでも悪影響が広がっている」として、景気が悪化し廃業や倒産が増えていると指摘。地域で愛されてきたいくつものスーパーが、増税による経営悪化と軽減税率実施に伴う負担増などにより閉店せざるを得ない実態を訴え、「あったことをなかったことにする、民意は聞かない、税金も自衛隊も勝手に操る、こんな安倍政権に誤った増税政策をただすことはできない」と批判し、「消費税率を5%に戻し、消費税率もインボイスも廃止する政権をつくろう」とよびかけた。

来年は社会保障制度の瀬戸際、大きなたたかいではねかせよう！



中央社保協の山口一秀事務局長は、「消費税は社会保障にあてると歴代政権は繰り返してきたが、増税が強行され国民のいのちや暮らしが脅かされ不安が大きくなっている」と指摘。強行前に設置された全世代型社会保障検討会議が労組の代表や現場からは一人も入っていない実態を指摘し「社会保障解体路線の総仕上げの位置づけだ」と強く批判。来年の通常国会では介護、年金の改悪法案の提出、さらには医療改悪の前倒しも懸念されるとして「まさに社会保障の瀬戸際、大きなたたかいの先頭に立って運動をすすめていく」と決意を述べた。

揺らぐ政権の屋台骨、私たちの世論と運動で安倍政権を追い詰めよう！

国民大運動の渡辺正道事務局長は、「これまで抜群の安定感で政権を支えていた『鉄壁の官房長官』が『桜を見る会』の質問になると歯切れが悪く、屋台骨が揺らいでいる」と指摘し、「私たちの世論と運動が安倍政権を追い詰めている。そのことに確信を持とう」とよびかけた。その上で、「桜を見る会」の幕引きは許さないとして、全国的に9の日を軸に世論に訴えていくこととし「一つひとつの行動を成功させ、市民と野党の共闘で安倍政権を退陣に追い込もう」と訴え、行動提起をおこなった。



行動のおしまいに、自治労連の小原徹也中央執行委員は「悪法の採決強行への怒りと安倍政権を退陣させる決意を込めて、シュプレヒコールをおこなおう」と参加者によびかけ、国会に向かって「予算委員会を今すぐ開け！」などと大きく声を響かせた。

今後のとりくみ日程

- 9日(月)12時~13時 9の日行動「改憲阻止、幕引きを許すな！『桜を見る会』の徹底解明を求める宣伝行動」 JR新宿駅西口 シール投票も計画中
- 12日(木)18時30分~ 「STOP!安倍改憲発議 総がかり行動 署名街頭宣伝」新宿西口小田急百貨店前中心に 共催：総がかり行動実行委/全国市民アクション
- 19日(木)18時30分~ 第51回「19日行動」安倍9条改憲NO!安倍政権退陣!12.19国会議員会館前行動(仮称)衆議院第2議員会館前中心に 共催：総がかり行動実行委/全国市民アクション